

「女による女のためのR-18文学賞」大賞&読者賞W受賞作家の最新刊!

すぐ色々な人達が「うるさく」も「やさしく」互いに寄り添うことで、前を向いたり何かを決心できたりする。**こんなアパートがあったら是非入居したいくらい**、泣きたくなるほど切望しました。

丸善ラゾーナ川崎店 山田 佳世子さん

もう泣いた。人はひとりじゃ生きていくのが困難で、側にいてくれる人、気にかけてくれる人がいるのは幸せなことだと感じた。

宮脇書店総本店 栗本 倫成さん

自分には必要ないと思っていること、合わないと思っている人のこと、知ろうとする前に決めつけてないで、とりあえず関わってみたら、**世界が変わるかもよ**って、優しく教えられた気がしました。

紀伊國屋書店相模女子大学ブックセンター 藤井 亜希さん

隣人のうたは うるさくて、 ときどきやさしい 白尾 悠

閉塞感や生きづらさばかり感じてしまうこの時代に、この優しい小説が生まれてくれて良かったです。悩みながら、躓きながら、**懸命に今を生きるすべての人に読んでほしいです。**たくさんの人に届いてほしいですし、たくさんの人に届けたいです。

紀伊國屋書店札幌本店 関 咲蘭さん

なんとすばらしい物語なんだ!好き!と、読後も胸のときめきが止まりませんでした。読んだ人同士で語り合いたくなる1冊です!

紀伊國屋書店鶴見大学ブックセンター 伊勢川 詩織さん

人と人とのつながりがもたらす優しさやあたたかさが心に染み入りました。**胸がいっぱいで自然と涙があふれ出ていました。**しみじみと心から出会えて良かったと思える、大切にしたい1冊です。

紀伊國屋書店久留米店 池尻 真由美さん

今年読んだ中でも特に心に残った作品。出会えてよかった。

くまざわ書店名古屋セントラルパーク店 大洞 良子さん



双葉社

心地よい暮らしを作るために住人が協働するコミュニティ型マンション——ココ・アパートメント
この込みあげる感動を、どう言葉にしたらよいのだろう。
全国書店員さんたちの胸を熱くした感泣作!